

地域の課題をとらえて

4氏が一般質問



富 樫 直 敏

- ・交通弱者対策について
- ・議員及び各種委員会の報酬について



西 澤 裕 之

- ・安全で快適なまちづくりと協働のまちづくりについて
- ・子ども議会について

交通弱者対策について

質問 現在、幌延町は高齢化が進むと予想されている。農村地帯で暮らす高齢者の心配は、運転免許証を返納した場合、どの様に生活を維持するのかわかるということである。

住民の移動手段を確保するため、幌延町でもライドシェアの導入の検討をする時ではないか。

町長 ライドシェアについては、近隣でも実証実験が行なわれているが、インターネット利用の前提、また万が一の補償等、行政が主体的に実施する場合は課題が多いため、ライドシェアの導入は考えていない。

質問 行政主体でライドシェアを導入するには、課題が多いとのことだが、民間事業者が運営する場合、それを行政が支援することは考えているか。

民間で動いてもらうシステムが最良だろうと感じるが、現在引き受ける事業者がないのが実情で、運営をしてくれる業者があれば、支援をしたいが難しいのではないか。

町長 システムが最良だろうと感じるが、現在引き受ける事業者がないのが実情で、運営をしてくれる業者があれば、支援をしたいが難しいのではないか。

質問 議員及び各種委員会の報酬について、町民による検討委員会を設置する考えはないか。

町長 議員及び各種委員会の調査を行い、その結果を見てから判断したい。



平成29年 幌延町子ども議会のようす

安全で快適なまちづくりと協働のまちづくりについて

質問 ホロノエル通りの歩道改修工事については、子ども議会や町政懇談会等から意見や要望が出ていた。

本町が継続性を持って交渉した結果、改修工事が開始されたことについて評価している。北海道から工事の計画について、どのような説明を受けているのか。

町長 北海道からは、雪印メグミルクから北方地域振興センター付近までの300mをアスファルト舗装へ改修することに合わせ、要望のあった花壇等の規模縮小を実施する旨の報告を受けた。また、今後も配分された単独事業での執行状況等を踏まえながら、実施を予定しているとのことだ、概ね3年程度での完了を予定していると聞いている。

質問 住民の関心の高い案件だったことを考えると、工事開始のお知らせがあっても良かったと考えるが、広報の必要性についてどのように考えていたのか。

町長 北海道と施工業者が、沿線町内会等との調整を図りながら進めていると聞いている。また、予算配分や他事業の執行状況により流動的な要素が多いことを踏まえ、積極的な広報は差し控えた。

質問 来年度から子ども議会は、問寒別中学校の生徒も参加していただける予定で進めている。行政の協力も得て進めて来たことも議会への評価は。

町長 次世代を担う子ども達の視点から見た率直なご意見や質問は、行政運営上大変参考になり、子ども達にとっても、有意義な機会であると考えている。

件だったことを考えると、工事開始のお知らせがあっても良かったと考えるが、広報の必要性についてどのように考えていたのか。